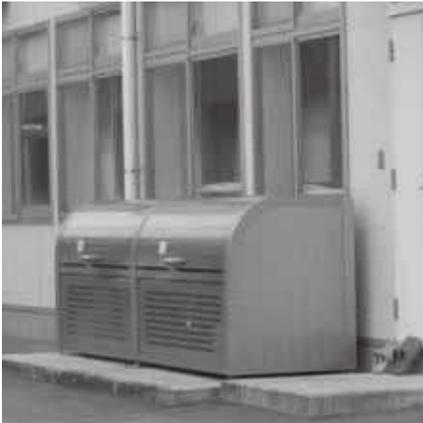


学校給食の野菜くずなどを肥料に

～八女中部汚泥再生処理センター～

(愛称 八女っくりん)



①学校給食の野菜くず等



②週2回収集します



④『新八女大地』のできあがり



③機械で細かく裁断し発酵させます

八女中部汚泥再生処理センター(愛称八女っくりん)は、浄化槽汚泥や学校給食の野菜くずなどから、汚泥発酵肥料『新八女大地』を作っています。この肥料は、一般販売や学校の花壇などにも使われ、大変好評です。

学校給食の生ごみは、これまで「燃えるゴミ」として、処理していました。リサイクルすることで、経費の削減や目に見える環境教育教材としても期待されます。

八女西部広域事務組合

8月24日組合議会が開催されました。歳入歳出決算の認定については、決算額は、前年と比較し、2100万円の増の15億7105万円であります。

補正予算については、歳入歳出それぞれに4437万円を増額し、予算総額を15億8592万円とするものです。歳入については、決算余剰金の清算として、繰越金5737万円の増額、基金繰入金1300万円の増額です。歳出については、広川・立花最終処分場維持管理等基金の積立金2737万円、クリーンセンターの工事請負費1700万円の増額です。専決処分については、草刈作業中に発生した駐車車両の損傷に係る損害賠償の専決処分の報告であります。

全会一致で可決しました。